



2022年4月13日

各 位

会 社 名 株式会社 **ラピーヌ**
代表者名 代表取締役社長 佐々木ベジ
[コード番号 8143 東証スタンダード市場]
問合せ先 取締役常務執行役員経営統括本部長 尾崎史照
(TEL 06-6946-3600)

たな卸資産評価損、営業外収益の計上及び資産除去債務の見積りの変更に関するお知らせ

当社グループは、2022年2月期第4四半期連結会計期間（2021年12月1日～2022年2月28日）において、たな卸資産評価損の計上及び営業外収益の計上を行いました、また当連結会計期間に資産除去債務の見積りの変更を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. たな卸資産評価損の計上について

当社の保有するたな卸資産に関し、2021年9月30日の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除以降も、個人消費活動の回復の足取りは重く、百貨店など大型商業施設をはじめとして売上が伸び悩む状況が続く中、2022年1月から新型コロナの変異オミクロン株感染が拡大し、再びまん延防止等重点措置が発令されるなど春企画商品ほかの在庫商品の収益性が低下したと認められるため、今後の販売可能性を考慮し、正味売却価額まで簿価を切り下げ、当連結会計期間末において、たな卸資産評価損1億35百万円を売上原価に計上いたしました。

2. 営業外収益について

当社グループは、新型コロナウイルス感染症に係る特別措置に基づいた雇用調整助成金や大規模施設等協力金等の制度を活用しており、当第4四半期連結会計期間において、2億73百万円を営業外収益に計上いたしました。

3. 資産除去債務の見積りの変更について

当社及び連結子会社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、会計上の見積りの変更を行いました。この見積りの変更による増加額58,363千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、当該見積りの変更により、当連結会計期間の営業損失が58,363千円増加し、経常利益及び税金等調整前当期純利益がそれぞれ58,363千円減少しております。

以 上